

令和元年度 第1回及び第2回 防府市農林業政策懇話会での意見及び提案等一覧

分類	No.	回次	ご意見
ひと	1	1	JA直売所の出荷者は高齢者が多く新たな事へのチャレンジが困難
	2	1・2	「天神みかん」もブランドを立ち上げて30年経過し担い手が減少している
	3	1	農大生以外の市民から労力派遣できる仕組みの構築が必要
	4	1	農大生以外の農繁期のサポート体制が欲しい
	5	2	就農体験ツアーや首都圏相談会は良い取組え徐々に成果が表れるのでは。会場等で接触した方に対してのアフターフォローが重要
	6	2	就農体験ツアーは継続してほしい。JA青壮年部のメンバーは昼は農作業で参加できないが夕方からであれば協力できる者も多い。このような組織があるという事も魅力に感じてもらいたい
	7	2	朝一番の作業から一緒に体験してもらえるような農業体験ツアー企画があればぜひ協力したい
	8	2	新規就農者呼び込み育成する取り組みの推進も必要だが、就農後の販路対策も検討しながら進めることが必要
	9	1	若者が休みをとれるような経営モデルを示してもらえるような拠点になってほしい
もの	10	1	指定産地の玉葱の売上高を5年計画で拡大したい
	11	2	玉葱はやり方次第でしっかりと儲けることができる
	12	2	玉葱の生産拡大を検討しているが、JAが行っている玉葱農機リースの機械の種類について、生産効率の高い機械の導入を望む
	13	2	JAで行っている玉葱農機レンタルの機械の種類について、4条植えの移植機など生産効率の高いものを導入することを検討中
	14	1	ハウス栽培や露地栽培で発生する廃プラスチックの処分について、クリーンセンターへの持ち込みができないか
	15	2	法人間連携の強化を視野に入れた連合体形成の支援を望む
	16	1	防府市公設市場の改革が必要
	17	1	公設市場の改革については、まず買受人を増やすことの検討が必要
	18	1	厳しい生産工程の管理によるGAP認証済みの農作物だが高値がつかないため、市場の活性化を望む
	19	1	値が付くと新規就農者も増加すると思われるため、GAP認証やブランド化の価値をきちんと伝えたい
	20	2	生産者とお客様の懸け橋となれるよう、売り場づくりや提案活動を継続していく必要がある
	21	1	ブランド化した後のPRが難しいため、消費者にどのように伝えるかが課題
	22	2	小松菜ブランド化のPRは効果があったが、小松菜に限らずPRは続けていかなければ意味がない
	23	1	地域で消費し地域でお金を循環させるべき、地産地消の推進
	24	1	法人化すれば必ず儲かるというわけではないが、税金対策、農機の共同利用などのメリットが大きく早期に法人化すべき
	25	1	農業をやるのであれば法人化された方がよい
	26	1	小野地区でほ場整備を進めており、法人化も目指しているが、将来的には大道や徳地の法人と連携したい
	27	1	酪農において敷料不足のため耕種農家への堆肥の提供が難しくなっている
	28	1	堆肥舎の建設により畜産農家と耕種農家双方の条件が良い時に堆肥の提供や使用が可能となる

令和元年度 第1回及び第2回 防府市農林業政策懇話会での意見及び提案等一覧

	29	1	気候が違う徳地と農機の共同利用を考えている
	30	1	高額な農機の更新が困難なため、農機レンタル制度により農業の維持向上につながるのでは
	31	1	農機レンタルについて、管理目的の簡易な機械であれば日本型直支（多面、中山間）を用い地域で解決を図れるのでは
	32	1	農機レンタルについて耕作放棄地の所有者が持っている中古農機の活用を
	33	2	レンタルを希望する農機はバックホー、チッパー、チェーンソー、モア、ダンプ
	34	2	農機レンタル制度を希望する声が多いが、レンタル後に調子が悪くなったり故障することもあり、維持費、修繕費のほうがかかるのが現状で農機レンタルの大きな課題
	35	2	農業大学校が所有する農機をレンタルできないか
	36	2	直播きでは水管理と雑草管理が難しく、適期防除の難しさを痛感
	37	2	みかんの生産において気候変動による温暖化への対応に困っている
	38	2	6次産業化を推進してほしい
	39	2	個人経営での6次産業化はよく考えて取り組まないと、営業に回る時間が無かったり、販路が無いという状況に直面する
	40	2	若い人の考え、イメージ、発想、意見を取り入れることが必要
	41	2	様々な課題については、地域とJAと市が連携して取り組むことが必要
	42	1	拠点ができるので、小規模農家が水稻以外で経営が成り立つような経営モデルの提案をしてほしい
	43	2	新たな林業経営管理システムが始動したことを契機に林業専門職の設置を希望
	44	1	SNSを活用した情報発信で生産現場の生の声を届けることが必要
土地	45	1	山林所有者の高齢化、不在地主の増加、所有者不明地等の問題がある中で新たな森林経営管理制度に期待
	46	1	森林の境界不明地解消のための地籍調査の推進
	47	2	竹林が増えており山林の荒廃が進んでいるが対策が必要では
	48	2	耕作放棄地から病害虫が発生していると聞く。対策が必要では
	49	2	多面的機能支払交付金制度について詳細が知りたい
	50	2	イノシシ被害の影響で耕作放棄地になり、その影響で水路が変わり水管理ができなくなる
	51	1	有害鳥獣被害について、毎年、イノシシによる被害が大きく困っている